

動物安楽死で議論

芦屋で
集会 無責任な飼い主批判

「捨てられたペットを安楽死させるのは是非か」。飼い主から見放されたペットの安楽死について考える集会在三日、

芦屋市栗平町の市民センターであつた。捨てられて傷ついた犬や猫の安楽死を「やむを得ない」とする日本動物福祉協会阪神支部救護センターの松田早苗

さん(金)が講演。約六十人の動物愛好家らが、ブームの陰で増える無責任な飼い主や、行政の役割を話し合った。

松田さんが二十年間続けてきた野良犬、野良猫の救護活動の記録を、パネルやスライドで報告。いい加減な飼い方で凶暴化したり、無理な多頭飼育の結果、集団で伝染病にかかったペットの姿を見せて「野良猫にエサをやつて繁殖させたり、飼育能力がないのに動物を飼つてど

が、動物にとって不幸な結果を招く」と訴えた。

質疑応答で松田さんが「動物愛護団体が動物を殺すことに批判もあるが、どうしても殺さね

ばならないのなら、動物を愛する者が心を込めて安楽死させる制度を確立させたい」と呼びかけた。神戸市の「ペットの医療と健康を考える会」代表世話人の境野恭子さん(三)は「私たちは捨て犬の里親を捜す活動をしている。今後もういつか討論

の場であり良い対策を考えたい」。主催した西宮市の自然保護団体「パンダクラブ兵庫」の矢野利佳子代表(三)も「安楽死に対して違った主張を持つ人たちが同じテーブルで話し合ったことに意義があつた」と話した。

はんしん

神戸支局

☎078(331)4144

神戸市中央区京町68-2

阪神支局 0798(33)5151

西宮市与古道町1-1

尼崎支局 06(436)2250

尼崎市武庫町1丁目35-20

宝塚通信局 0797(72)2560

伊丹通信局 0727(72)3717

川西通信局 0727(57)9424

販売のご用は

西宮 0798(33)2979

＝10時から17時まで